

# 総合型選抜 2022 年度過去問題 作業療法学科

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

心停止の患者が運び込まれる。

午前四時、仮眠をとっていた研修医の佐々木は当直医にたたき起こされた。

救急隊に心臓マッサージをされながら病棟に運び込まれた意識不明の患者は、すぐさま電気ショックをかけられる。幸運にも脈は一発で戻ったが、心電図は明らかな心筋梗塞を示していた。

ただちに処置室で、梗塞部の血管を広げるためのカテーテル治療が実施される。すると患者の意識はその最中に回復し、彼は一命をとりとめた。

I C Uに入ってしばらく治療を受けたのち、彼は自分の足で歩いて退院していったという。

〈中略〉

## 腫瘍内科医の役割

現在佐々木は、腫瘍内科医としてがんの専門病院で働いている。彼の主な仕事は、完治を目指したがん治療の実践と、強い痛みといった、がんによって生じる症状を取り去るための対策を講ずることだ。

しかし彼の仕事はこればかりではない。

たとえば、末期のがん患者とのかかわりにおいて、佐々木がとりわけ大事にしていることは、たとえ完治が見込めなくとも、症状を取るための治療を続けるという形で、自分たち医療者がこれからも関わり続けることを、患者に伝えることである。多くの末期がんの患者は、自分たちが末期であることで、今までの病院から見放されてしまうことをもっとも恐れている。関係があり続けるということが彼らにとっての希望となるのだ。

また初診の患者とのやりとりにおいても佐々木は大事にしていることがあり、それは患者に考える時間がどのくらいあるかを見極めることである。

〈中略〉

佐々木の職場はがん専門病院であるため、「抗がん剤＝悪」とダイレクトに考えるような患者は少ないが、完治が期待できるにも関わらず、患者が抗がん剤治療に抵抗感を示すことはそれでもやはりあるという。

そのような時、佐々木がもっとも慎重になるのは、「治療を受ける、受けない」について患者自身が考える猶予がどのくらいあるのかを見極め、その期間を治療の内容とともにわかりやすく伝えることだ。

がんは進行性の病気である。その猶予は、一日もない場合もあれば、一、二週間ある場合もあるが、いずれにしても時間の経過とともに完治の見込みは下がり、あるラインを超えれば、望んでも完治は難しくなってしまう。だからこそ佐々木は、患者が自分自身で決めることを尊重しつつも、その期限設定には慎重になる。

## 「治す」ばかりが医療なのか？

私たちは病気を治すために病院に行く。そして医療者もその願いを叶えるために様々な策を練る。

その意味で、佐々木が研修医時代に経験した出来事は、医療に対する私たちの期待をドラマチックに表現しているといえるだろう。

放っておいたら確実に消えてしまう命の炎が、カテーテル治療によってふたたび燃え始める。  
どうしたらよいかわからない目の前の人の苦しみが、手術によって消え去ってしまう。  
わけのわからない身体の痛みが一粒の薬でやわらぐ。  
大勢の人の命を奪った感染症がワクチンにより一掃される。

現代医療は病気が引き起こす痛みから逃れたいという私たちの希望をさまざまな形で実現してきた。その意味で、病気を治してほしいと医療者に願うこと、病気を治すのが医療者の仕事だと思うこと、それはしごくふつうのことといえるだろう。

しかし「病気を治すのが医療者の仕事である」というふつうから、先に紹介した佐々木の仕事を考えてほしい。見捨てられることを恐れる末期がんの患者に「私たちはあなたとこれからも関わりを持ち続ける」と伝えること、医師の眼から見て完治の可能性がありながらも、治療に踏み切ることを見守る患者の意思を尊重すること、佐々木のこのような患者とのかかわりは、「治す」とどのようにかかわっているのだろう。少なくとも、これら佐々木の仕事は、異常を正す・元通りにするといった、「治す」の字句通りの定義には入りにくい。

私は文化人類学者として、さまざまな医療現場にお邪魔させていただく機会を得た。そこで私は診察に同席させてもらい、現場で医療者は何を考えているのかを教えてもらっているのだが、私はその経験を通じ、次のことを感じるようになった。

病気を「治す」ことが医療の仕事であるというしごく当たり前の考えは、かれらの仕事の本質をむしろ見えにくくするし、もっといえば、誤解すら招きかねないのではないかと。身体の異常を元通りに治すとか、心身の不調をすっかり取り去るとか、字句通りの「治す」からはいっけん離れたところにある医療行為が現場にはたくさんあり、それらの行為こそがまさしく医療なのではないかと思わせる場面が存在するからである。

(出典：磯野真穂 『医療者が語る答えなき世界―「いのちの守り人」の人類学』, 筑摩書房, 2017年, 135-140頁より引用, 一部改変)

問1 筆者の考えを400字以内で要約しなさい(字数には句読点を含む)。

問2 リハビリテーションにおいて、下線部が示す医療行為はどのようなものだと思いますか。具体的な例をあげ、400字以内で述べなさい(字数には句読点を含む)。

問3 下線部が示す医療行為を、あなたは、どのような言葉で表現しますか。10字以内で述べなさい(字数には句読点を含む)。